

歩行者が夜間、車に轢かれて亡くなる事故原因のほとんどが運転中のライトの下向きでした。

防止策の一つに、夜間走行中のライトのハイビーム（上向き）運転があります。

ロービーム（下向き）で走る

ことに慣れ、歩行者の発見が遅れて事故を起こすことが多くなっています。ロービームでは前方を照らす距離は約40メートル。ハイビームに切り替えると2・5倍の約100メートルと言われ、

それだけ歩行者の発見が早くなります。

ハイビームで前の車や対向車への眩惑を避けるためには、こまめな切り替えが必要です。これは漫然運転

事故防ぐハイビーム

や居眠り運転を防ぐし、さらに暗くなる前にライトをつけると歩行者も車を早く知ることができて効果的。

歩行者は、当然明るい服装と反射材の活用も有効です。



交通安全30メモ